

## ＜「麻疹ウイルス（HI）」報告遅延のお知らせ＞

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り厚く御礼申し上げます。

このたび、標記項目におきまして、検査委託先より「この度の麻疹流行に伴い、原材料であるアフリカミドリザル血球の供給不足による検査試薬の不足が予想され、報告が遅延する可能性がある」旨の連絡を受けましたので取り急ぎご案内いたします。

つきましては、本案内以降、下記の代替項目をご利用いただきますようお願いいたします。

誠に突然のことであり、先生方には大変ご迷惑をお掛けいたしますが、弊社事情ご賢察のうえ、ご了承の程お願い申し上げます。

敬具

記

### 《対象項目》

[122] 麻疹ウイルス（HI） 総合検査案内90頁参照

### 《遅延対象受付日》

即日

### 《代替項目》

[2168] 麻疹ウイルス IgG抗体（EIA）

[2171] 麻疹ウイルス IgM抗体（EIA）

※ 代替項目として、上記項目をご案内させていただきます。

国立感染症研究所感染症疫学センターから出されている『医療機関での麻疹対応ガイドライン（第六版：暫定改訂版）』では、麻疹に対する免疫の有無を確認するための抗体価測定方法として、酵素抗体法（EIA法）またはゼラチン粒子凝集法（PA法）が推奨されています。また、赤血球凝集抑制法（HI法）は、EIA法、PA法より感度が低く、免疫の有無を検査する目的には推奨できないと記載されています。